

## 令和3年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

### 選択必修領域

講習の区分	受講者が所有する免許状の種類, 勤務する学校の種類 又は教育職員としての経験に応じ, 選択して受講する領域
講習の名称	【選択必修】学校・家庭並びに地域の連携及び協働
受講者定員	30人
受講対象者	全教員
開設日	令和3年10月3日(日)
実施形態	WEB配信(同時双方向型講習)
講習時間	6時間
担当講師	小倉 正義, 阪根 健二
受講料	6,000円
講習の内容	<p>(前半)学校心理学・臨床心理学の観点から, 学校, 家庭, 地域が援助チームを形成し, 連携・協働するための基礎となるコミュニケーションの在り方について議論する。この際, 心のバリアフリーについても理解を深める。また, 子どもの貧困問題への対策の一環として行われている学習支援等の実践を紹介しながら, 学校としてこのような実践とどのように連携すべきかを議論する。(小倉)</p> <p>(後半)学校, 地域, 家庭との連携において, どのような課題があり, どのような取り組みが必要なのかについて, 事例を紹介しながら論及する。ここでは, コロナ禍における学校, 地域, 家庭との連携, 学校教育と社会教育との関連の事例, 事件や事故という緊急の場合における課題や有効性の考察など, 連携や協働の本質を探る。加えて, これまでの教育実践に基づく受講者間の意見交換を通して, これからの学校, 地域, 家庭との連携の在り方について, 検討を加える。(阪根)</p> <p>本講習は, 同時双方向型により実施する。</p>
講習のねらい	学校, 地域, 家庭の連携に関するいくつかの学問背景からなる理論や具体的な実践事例を扱う中で, チームとしての学校の一員としての力量を高め, 現代的教育課題の解決能力の向上を図る。
講習到達目標	<p>次の事項について理解し, 説明することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学校, 地域, 家庭との連携を要する教育的課題(子どもの貧困問題も含む)</li> <li>②学校教育と社会教育との関連</li> <li>③学校, 地域, 家庭との連携を踏まえた教育的課題の解決に向けた方策とその有効性</li> <li>④連携・協働に必要なコミュニケーションの在り方</li> <li>⑤心のバリアフリー</li> </ol>
講習スケジュール	<p>令和3年10月3日(日)</p> <p>Zoomによる同時双方向型講習</p> <p style="margin-left: 40px;">8時20分～ 8時45分 Zoomによる出欠確認 8時55分～ 9時00分 オリエンテーション 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 講義 14時40分～16時10分 講義 16時15分～16時25分 Zoomによる出欠確認 16時25分～17時05分 試験問題開示, 履修認定試験 ※専用フォームに解答・アンケート提出</p>
履修認定試験の方法	専用フォームによる試験
成績評価	成績評価は, 講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。履修認定試験の結果, 受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としてますが, その際の評価は60点以上の採点をもって行います。
準備するもの	受講票, 筆記用具
不測の事態により配信が困難と判断した場合の振替日	令和3年12月5日(日)
その他	受講申込みについては, 「募集要項」を参照してください。